

☆ 中学部

3年生になってから学習の成果に差がつくのではなく、今や2年生の段階で大きな差となって現れてきています。学力の差が大きくなるほど、成績上位者は勉強が楽しくなり、伸び悩んでいる子は勉強を苦痛に感じるようになります。勉強が楽しくなるか苦痛に感じるかは「早いうちから少しずつ着実に努力していく」という、ほんのちょっとした姿勢の差なのです。どんなに一生懸命授業を受けても家庭学習ができていなければ学力は向上しません。学力を上げるためには、反復練習を主体とした家庭学習が必要不可欠です。

学年	科目	曜日・時間(チカラン)
中1	国語	火 18:30~20:00
	数学	土 10:40~12:10
	英語	水 15:40~17:10
中2	国語	金 18:30~20:00
	数学	火 18:30~20:00
	英語	水 17:20~18:50
中3	国語	月 18:30~20:00
	数学	金 18:30~20:00
	英語	木 18:30~20:00
	理科社会	金 17:45~18:20(理科)、月 17:45~18:20(社会)
中1~高3	個別授業 《定員1名》 《定員2名》	お問い合わせ下さい

○中1~中3のクラス受講生には、中学スタンダード(又はハイレベルテスト)(教育開発)を実施します。
○各教科2名迄1科目の受講も可能です。

◇ 数学

「正負の数」・「文字式」でスタートし「1次方程式」・「比例反比例」・「平面図形」・「空間図形」と中1では中3で学ぶ全ての単元の基礎を学びます。中1の単元で手を抜かず丁寧に学習することが必要です。中2の数学を制することは高校入試の数学を制するといっても過言ではありません。「連立方程式」・「一次関数」・「平面図形」・「確率」などの入試頻出単元の学習はもちろんですが、受験学年の基礎づくりとして準備を進めることが必要になります。中3では、「因数分解」・「平方根」・「二次方程式」は新しい計算の世界です。これらの計算は入試問題の計算や小問の集合に必ず出題されるため、まずこれらの計算の定着を目指し、「二次関数」・「相似」・「三平方の定理」などの入試頻出単元に臨みます。

また、入試問題は関数と円や相似形などの融合問題が多く出題されますので、各単元の学習をいかに関連づけて思考できるかが大きなポイントになります。多くの問題を扱いながら、入試問題演習を徹底指導していきます。

◇英語

に限らず語学学習全般に言えることですが、中1の英語は、理解よりも暗記のウエイトが大きく、英語にかかる学習時間のうち比較的多くの時間を「暗記」に割くこととなります。その中で、いかに効率的にかつ効果的に暗記できるかといったこつをつかむことが非常に重要です。中2になると「助動詞」・「不定詞」・「動名詞」・「文型」・「比較」・「受動態」などの重要単元が目白押しとなります。習得すべき単語や熟語の数も1年次よりも増加します。また、1年次に英語に苦手意識を持ってしまったお子様にとっても、土台を再構築する重要な学年となります。「現在完了」・「不定詞」・「分詞」・「関係代名詞」等の中3内容は、全てが入試に直結する重要単元です。いかに各単元のポイントを抑えて学習を進めていけるかが中3の夏以降の飛躍の鍵を握っています。

◇国語

の授業は読解中心です。特に中1の間は文章の内容理解を優先させますので、文章内容や背景知識などを丁寧に解説していきます。次に、漢字などの確認テストにむけた準備や宿題を通して学習サイクルを確立していきます。文法や古文など、小学校の頃にあまり扱うことのなかったものも導入していきます。中2に進むと、読解面は設問形式別の解法を導入し、設問ごとで求められていることに正確に対応できるようにしていきます。文法事項は助動詞・助詞の学習まで進め、古文も主語の確定・訳し分け・会話文確定などのオーソドックスな問題に対応できる力を養っていきます。中3での国語は他教科よりも早く仕上げに入ります。読解はより入試問題に即した実践力を身に付けていき、文法事項は、単元学習はほぼ中2で終了していますが復習・総まとめを行います。また、古文に対する慣れを育成し、漢字・知識も入試で必要とされる事柄の定着を図り、万全の状態の入試に臨みます。

◇中3理科・社会

理科の勉強は、まず知識を固めることが重要です。次に知識がきちんと身についているか、実際の問題を解くことで確かめます。繰り返し演習を行うことで、“わかった気”になっていた部分を再度確認することができるのと同時に、問題形式に慣れることもできます。数学などとは違い、理科は単元ごとに独立した知識が多く、4分野から幅広い知識が問われます。近年では知識で答える1問1答形式以外に思考力問題も増えていますので、問題演習を多く行い知識を定着させると同時に、問題形式に慣れることが重要です。社会では昭和初期からの日本の歴史と新たに公民を学習します。公民は幅広い知識が必要な分野で、今まで順調に社会の学習を進めていた人でもつまづく場合があります。『社会＝暗記』と思われがちですが、何よりも『理解』することが大事な科目なので理解しながら覚える努力をしましょう。より多くの問題を解くことで問題への慣れも出てきます。自然と苦手意識も軽減されるので、最後まで諦めずに取り組んでいきましょう。

☆小・中学生の選択科目

小学部・中学部の授業受講生のための選択科目です。

選択科目	コース	曜日・時間(チカラン)
英検	英検対策4級	土 15:00～15:35
	英検対策3級	火 17:45～18:20
	英検対策準2級	木 17:45～18:20

英検クラスの授業案内

英検4級	英検4級合格を目指し、3級合格の下地を作ります。英検は半分以上がリスニングテストであることと、全体で60%前後の得点で合格してしまうことから、4級に合格していてもその実力はまだまだというケースがほとんどです。このコースでは4級にふさわしい英語力と3級合格に向けた本当の実力をつけることができるよう指導していきます。ですから5級に受かった生徒はもちろん、4級に合格していても実力がまだという生徒も対象となります。会話表現ばかりでなく文法の説明も詳しく行い、英語読解力・単語力の基礎をつけていきます。また複数の音源を使用して聴解能力の養成も合わせて行います。
英検3級	英検3級は一応中学3年間の学習内容がその範囲と言われています。5級から4級への差異よりも、4級から3級へのギャップは大きいものがあります。勉強すべき語彙も格段に増えます。複数の音源を使用しながら聴解能力を鍛えると同時に文章読解を通じて文法項目や語法の理解をすすめていきます。3級合格者でも実力の伴わない場合はここで鍛えることを勧めます。
英検準2級	英検準2級合格と2級合格の基礎作りを行います。準2級は高校2年生程度のレベルと言われます。3級と比べて中学では学習しなかったいくつかの文法項目や語法、3級から比べれば格段に増える語彙など、学習項目はたくさんあります。英検で使われるジャンルの英文を丹念に読みこなしながら語彙を増やし、準2級の高得点合格を目指します。これが2級合格の近道です。

☆小・中学生の学力テスト

授業の到達度をみるテストとして、小学生のクラス受講生対象に小学スタンダードテストを年6回、また、中学生のクラス受講生には、中1はスタンダードテスト(教育開発出版)、中2・中3はスタンダードテスト又はハイレベルテスト(教育開発出版)を中3は3月、中1・中2は3月と8月を除き毎月実施します。(授業時間内にて行います。) また、公開試験として愛知全県模試(有料)・全国統一小学生テスト(無料)・全国統一中学生テスト(無料)を希望者に実施する予定です。その他、早稲田アカデミー主催模試をご案内いたします。

○小学スタンダードテスト(小3～小6 算数・国語受講生対象)

○中学スタンダード・ハイレベルテスト(中1～中3 数学・英語・国語受講生対象)

○愛知全県模試(中1～中3 受験希望生対象)

○全国統一小学生テスト(年2回)

○全国統一中学生テスト(年2回)